

桜環境センター維持管理記録書(平成31年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)	
	可燃ごみ	1号炉	5,693	
		2号炉	3,621	

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	4月30日	957	800 以上
		2号炉	4月30日	956	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	4月30日	175	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	169	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	4月30日	2	100 以下
		2号炉	4月30日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	-	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉		-	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	-	-
					-	
ばいじん	1回/2月				-	0.04 g/m ³ N
					-	
塩化水素	1回/2月				2号炉	-
			-			
窒素酸化物	1回/2月		-			180 ppm
			-			
全水銀	1回/4月		-			50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (チャンリング口)		2号炉	/
		-				
ばいじん	1回/2月	-		0.04 g/m ³ N		
		-				
塩化水素	1回/2月	-		200 mg/m ³ N		
		-				
窒素酸化物	1回/2月	-		180 ppm		
		-				
全水銀	1回/4月	-		50 µg/m ³		

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和元年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,827
		2号炉	3,327

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	962	800 以上
		2号炉	5月31日	955	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	177	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	2	100 以下
		2号炉	5月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (ダンプリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ダンプリング口)	1号炉	5月29日	6月17日	<0.030 m ³ N/h	59.3 m ³ N/h	
						<1 ppm		
ばいじん	1回/2月					0.003 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
						塩化水素	1回/2月	17 mg/m ³ N
10 ppm								
窒素酸化物	1回/2月		19 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月		3.2 µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (ダンプリング口)	2号炉	5月29日	6月17日	<0.030 m ³ N/h	57.1 m ³ N/h
							<1 ppm	
ばいじん	1回/2月						<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素					1回/2月	13 mg/m ³ N
8 ppm								
窒素酸化物	1回/2月	18 ppm		180 ppm				
全水銀	1回/4月	0.82 µg/m ³		50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和元年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,267
		2号炉	5,227

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	955	800 以上
		2号炉	6月30日	952	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	165	概ね 200 以下
		2号炉	6月30日	163	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	2	100 以下
		2号炉	6月30日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (ダンプリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ダンプリング口)	1号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h		
						- ppm			
ばいじん	1回/2月					- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N		
						塩化水素	1回/2月	- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
- ppm									
窒素酸化物	1回/2月		- ppm			180 ppm			
全水銀	1回/4月		- µg/m ³			50 µg/m ³			
硫黄酸化物	1回/2月		2号炉					- m ³ N/h	- m ³ N/h
								- ppm	
ばいじん	1回/2月							- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素		1回/2月	- mg/m ³ N			200 mg/m ³ N	
- ppm									
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm						
全水銀	1回/4月	- µg/m ³	50 µg/m ³						

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和元年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,887
		2号炉	4,007

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	952	800 以上
		2号炉	7月31日	953	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	172	概ね 200 以下
		2号炉	7月31日	169	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	3	100 以下
		2号炉	7月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (ダンプリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ダンプリング口)	1号炉	7月31日	8月22日	<0.033 m ³ N/h	59.9 m ³ N/h	
						<1 ppm		
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
						塩化水素	1回/2月	2 mg/m ³ N
1 ppm								
窒素酸化物	1回/2月		23 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月		- µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (ダンプリング口)	2号炉	7月31日	8月22日	<0.029 m ³ N/h	58.3 m ³ N/h
							<1 ppm	
ばいじん	1回/2月						0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素					1回/2月	8 mg/m ³ N
5 ppm								
窒素酸化物	1回/2月	20 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	- µg/m ³	50 µg/m ³					

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和元年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,865
		2号炉	5,866

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	8月31日	955	800 以上
		2号炉	8月31日	955	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	8月31日	177	概ね 200 以下
		2号炉	8月31日	173	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	8月31日	3	100 以下
		2号炉	8月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (#ンブリング [°] 口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#ンブリング [°] 口)	1号炉	8月30日	9月16日	<0.030 m ³ N/h	59.1 m ³ N/h
	<1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					26 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	16 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	15 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月					2.0 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (#ンブリング [°] 口)	2号炉	8月30日	9月16日	<0.029 m ³ N/h	58.8 m ³ N/h
	<1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					6 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	3 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	17 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月					1.9 µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和元年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,676
		2号炉	417

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	9月30日	956	800 以上
		2号炉	9月30日	954	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	9月30日	187	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	166	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	9月30日	1	100 以下
		2号炉	9月30日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (ダンプリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値			
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ダンプリング口)	1号炉			- m ³ N/h	- m ³ N/h			
						- ppm				
ばいじん	1回/2月					- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N			
						塩化水素	1回/2月	- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月		- ppm			180 ppm				
全水銀	1回/4月		- µg/m ³			50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		2号炉						- m ³ N/h	- m ³ N/h
									- ppm	
ばいじん	1回/2月								- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素		1回/2月	- mg/m ³ N				200 mg/m ³ N	
- ppm										
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm							
全水銀	1回/4月	- µg/m ³	50 µg/m ³							

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和元年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,364
		2号炉	5,565

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	959	800 以上
		2号炉	10月31日	959	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	188	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	183	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	3	100 以下
		2号炉	10月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	10月29日	11月18日	- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			0.00047 ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	10月29日	11月14日	- m ³ N/h	- m ³ N/h
	- ppm						
ばいじん	1回/2月					- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	- ppm						
窒素酸化物	1回/2月	- ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月					- µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	10月29日	11月14日	<0.021 m ³ N/h	51.6 m ³ N/h
	<1 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					8 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	5 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	17 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月					- µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和元年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,133
		2号炉	5,278

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	960	800 以上
		2号炉	11月30日	969	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	186	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	183	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	3	100 以下
		2号炉	11月30日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	11月22日	12月12日	0.0032 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	/	- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	11月22日	12月9日	<0.024 m ³ N/h	56.2 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	11月22日	12月9日	0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					2 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	11月22日	12月9日	1 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月					17 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	11月22日	12月9日	-	50 µg/m ³
全水銀	1回/4月					-	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	/	/	- m ³ N/h	- m ³ N/h
						- ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	/	/	-	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
塩化水素	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	/	/	- ppm	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月					-	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	/	/	-	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月					-	180 ppm
全水銀	1回/4月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	/	/	-	50 µg/m ³
全水銀	1回/4月					-	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和元年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	746
		2号炉	5,883

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	962	800 以上
		2号炉	12月31日	991	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	187	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	185	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	3	100 以下
		2号炉	12月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

実施箇所	除去を行った年月日	
冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
	2号炉	稼働時常時機械除去
排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
	2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	-	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉		-	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	-	-
					-	
ばいじん	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉	/	-	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				-	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	/	-	180 ppm
全水銀	1回/4月				-	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	/	-	-
					-	
ばいじん	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	/	-	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月				-	200 mg/m ³ N
窒素酸化物	1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉	/	-	180 ppm
全水銀	1回/4月				-	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和2年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,839
		2号炉	5,874

データ 項目	測定位置	結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月31日	970	800 以上
		2号炉	12月31日	982	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月31日	188	概ね 200 以下
		2号炉	12月31日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月31日	2	100 以下
		2号炉	12月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

実施箇所	除去を行った年月日	
冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
	2号炉	稼働時常時機械除去
排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
	2号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	/	- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉	/	- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	1月7日	1月21日	0.049 m ³ N/h	59.4 m ³ N/h
						<1 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	1号炉	1月7日	1月21日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					18 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1回/2月					11 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					19 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					1.5 µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	1月7日	1月21日	0.14 m ³ N/h	59.2 m ³ N/h
						2 ppm	
ばいじん	1回/2月	煙突 <small>(チャンリング口)</small>	2号炉	1月7日	1月21日	<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素	1回/2月					23 mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
	1回/2月					14 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					21 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					1.8 µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和2年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,496
		2号炉	985

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)		燃焼室 出口	1号炉	2月29日	967	800 以上
			2号炉	2月29日	964	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)		集じん器 入口	1号炉	2月29日	186	概ね 200 以下
			2号炉	2月29日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)		集じん器 出口	1号炉	2月29日	3	100 以下
			2号炉	2月29日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}		1回/年	煙突 (チャンリング口)	1号炉		- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
				2号炉		- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉		- m ³ N/h	- m ³ N/h
						- ppm	
ばいじん		1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉		- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素		1回/2月				- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
		1回/2月	煙突 (チャンリング口)	1号炉		- ppm	180 ppm
窒素酸化物		1回/2月				- ppm	
全水銀		1回/4月	煙突 (チャンリング口)	2号炉		- µg/m ³	50 µg/m ³
硫黄酸化物		1回/2月				- m ³ N/h	- m ³ N/h
		1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉		- ppm	- m ³ N/h
ばいじん		1回/2月				- g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
塩化水素		1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉		- mg/m ³ N	200 mg/m ³ N
		1回/2月				- ppm	
窒素酸化物		1回/2月	煙突 (チャンリング口)	2号炉		- ppm	180 ppm
全水銀		1回/4月				- µg/m ³	50 µg/m ³

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

桜環境センター維持管理記録書(令和2年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	5,706
		2号炉	5,707

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 ^{※1} (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月31日	973	800 以上
		2号炉	3月31日	965	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 ^{※1} (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月31日	188	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	184	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ^{※1} (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月31日	3	100 以下
		2号炉	3月31日	3	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん ^{※2} の除去を行った年月日	実施個所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
2号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 ^{※3}	1回/年	煙突 (ポンプリング口)	1号炉			- ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
			2号炉			- ng-TEQ/m ³ N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度^{※4※5}

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (ポンプリング口)	1号炉	3月3日	3月23日	<0.033 m ³ N/h	58.3 m ³ N/h	
						<1 ppm		
ばいじん	1回/2月					<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N	
						塩化水素	1回/2月	2 mg/m ³ N
1 ppm								
窒素酸化物	1回/2月		16 ppm	180 ppm				
全水銀	1回/4月		- µg/m ³	50 µg/m ³				
硫黄酸化物	1回/2月		煙突 (ポンプリング口)	2号炉	3月3日	3月23日	0.47 m ³ N/h	55.2 m ³ N/h
							9 ppm	
ばいじん	1回/2月						<0.001 g/m ³ N	0.04 g/m ³ N
		塩化水素					1回/2月	11 mg/m ³ N
7 ppm								
窒素酸化物	1回/2月	18 ppm		180 ppm				
全水銀	1回/4月	- µg/m ³		50 µg/m ³				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。